

平成20年度第4回団体連絡会議議事次第

1. 日 時: 平成21年3月19日(木) 15:00~17:00
2. 場 所: (社)日本建材・住宅設備産業協会 A・B会議室
3. 議 題
 - (1)富田 育男 建産協 専務理事 挨拶.....15:00~15:10
 - (2)講演
 - ①「建設リサイクル制度の施行状況の評価・検討について とりまとめ」.....15:10~15:50
(国土交通省 総合政策局 建設業課 課長補佐 古市 秀徳氏)
 - ②「カーボンフットプリント国内状況」について.....15:50~16:30
(経済産業省 産業技術環境局 環境政策課 課長補佐 黒田 浩司氏)
 - (3)団体会員からのご報告.....16:30~16:40
 - (4)建産協からの報告・他.....16:40~17:00
 - ①平成20年度事業報告
 - ②「工業会等に対するJIS・ISOに関する意識調査」について
 - ③「情報提供サービス」について
 - ④平成21年度団体連絡会日程
平成21年 6月19日(金)
平成21年 9月18日(金)
平成21年12月15日(火)
平成22年 3月19日(金)

平成20年度 第4回団体連絡会議開催報告

平成21年3月19日(木)当協会会議室において平成20年度第4回団体連絡会が、28団体等39名の出席を得て開催された。

まず、富田育男専務理事より挨拶および建産協の平成20年度事業報告がなされ、その後、講演、報告があった。

最新の行政動向

講演 . 建設リサイクル制度の施行状況の評価・検討について とりまとめ

講師：国土交通省総合政策局建設業課 課長補佐 古市秀徳 氏



建設リサイクル制度の施行状況の評価・検討(施行後5年経過に伴う建設リサイクル法点検)及び今後の方向性などを説明。

1. 評価・検討の概要

検討時期・体制、検討経緯、とりまとめの構成

2. 建設リサイクル制度の現状と課題

建設リサイクル制度の現状と効果、建設リサイクル法の仕組み、建設廃棄物の排出量と最終処分量の推移、品目別再資源化率等、建設発生木材の縮減状況、廃石膏ボードのリサイクルにおける現状・課題、依然として不法投棄・不適正処理が多いこと

3. 課題解決に向けての基本的方向性

3Rの推進に向けた横断的取組み、建設リサイクルの促進、建設廃棄物適正処理の徹底

4. 課題解決に向けての具体的な取組み

発生抑制の取組みの推進、再使用・再生資材の利用、分別解体等に係わる施工方法に関する基準、解体工事業の登録制度、不適正処理の防止策の実施、行政における情報共有等の連携強化

講演 . 我が国におけるカーボンフットプリント制度の実用化・普及推進に向けた取組みについて

講師：経済産業省産業技術環境局環境政策課 課長補佐 黒田浩司 氏



1. カーボンフットプリント制度に取り組むことの意義

2. カーボンフットプリント制度の実用化・普及に向けたこれまでの取組み

3. カーボンフットプリント統一マークの決定、カーボンフットプリントアンケート調査結果

4. カーボンフットプリント暫定表示商品の市場調査、国内外の標準化に向けたスケジュール

5. カーボンフットプリント制度の今後の進め方

建産協からの報告事項

1. 「工業会等に対する JIS・ISO に関する意識調査」について
昨年 11 月 20 日に実施したアンケート調査結果について説明。
2. 「建材・住宅設備に関する新しい情報提供のしくみについて」～「カタラボ」のご紹介～
協会が検討している新しい情報提供のしくみについて説明。
3. 平成 21 年度 団体連絡会日程
 - ・平成 21 年 6 月 19 日 (金)
 - ・平成 21 年 9 月 18 日 (金)
 - ・平成 21 年 12 月 15 日 (火)
 - ・平成 22 年 3 月 19 日 (金)